

日本感情心理学会常任理事会・理事会 議事次第

日時：2018年11月9日（金）16時30分～19時00分

会場：東洋大学白山キャンパス 5号館3階 5309

出席者（敬称略）：中村 真理事長（議長），湯川進太郎副理事長，樋口匡貴事務局長，有光興記，伊藤義徳，大平英樹，北村英哉，澤田匡人，成田健一，河野和明（以上常任理事），阿部恒之，稲垣 勉，内山伊知郎，佐藤健二，鈴木敦命，戸梶亜紀彦，一言英文（以上理事），伊波和恵（監事）

委員長への委任：岩永 誠，佐藤 徳（以上常任理事），薊 理津子（理事），谷口高士（監事）

開会に先立ち，定足数に達していることが確認された。また常任理事会へのオブザーバーとして鈴木敦命編集副委員長の参加が要請され，審議の結果，認められた。

【審議事項】

1. 倫理に関する事案について（資料1，常任理事会）

- ・ 審議に先立ち，倫理委員会規程並びに倫理問題の処理手続きに関する規程を確認した。
- ・ 資料1に基づき，成田感情心理学研究編集委員長より，倫理的問題が疑われる論文に関する検討状況が報告された。
- ・ 慎重な審議の結果，本件は倫理的問題が疑われる事案であると判断された。併せて，倫理的問題の処理手続きに関する規程第6条2に基づき，倫理委員会に対し調査委員会の設置を依頼した。

2. 会費未納による退会について（資料2，常任理事会）

- ・ 資料2に基づき，会費未納者の確認が行われた。3年間の会費未納となった場合自動退会となることが承認された。同時に督促についての依頼が行われた。また会費未納者による感情心理学研究の掲載にあたっては，早急な会費納入を督促することとした。

3. その他（常任理事会，理事会）

- ・ 常任理事会において倫理委員会規程の改正に関する発議が行われ，第7条5項の削除について審議が行われた。審議の結果，倫理委員会規程第7条5項の削除が承認された。また理事会での審議の結果，本改正案は承認された。なお，改正された規程は2018

年11月9日から施行されることとなる。

**【報告事項】（以下理事会）**

1. 会勢報告（資料3）

- ・ 資料3に基づき、理事長より現在の会勢が報告された。
- ・ 同時に入会許可直後の入会申し込み取消が複数件あることが報告された。

2. 会則細則の改正について（資料4）

- ・ 資料4に基づき、理事長より会則および細則の改正について説明がなされた。すでに理事会で審議決定済みであるが、最終的には総会での議を経て決定されることが確認された。改正の主な点は（1）除名に関する事項、（2）名誉会員に関する事項、（3）役員選挙に関する事項である。

3. 2017年度大会決算について（資料5）

- ・ すでに理事会で審議決定済みであるが、資料5に基づき、理事長より2017年度大会の決算について説明がなされた。

4. 学術プログラム委員会関係

- ・ 大平学術プログラム委員長より、大会の企画支援および昨年度のセミナーに基づいて企画されたエモーション・スタディーズ特集等の編集状況について報告がなされた。
- ・ 一言学術プログラム委員より、大会発表賞に関する状況の報告がなされた。
- ・ 理事長より、今年度セミナーの告知が行われた。

5. 機関誌編集委員会関係

（1）感情心理学研究

- ・ 成田編集委員長より、配布資料に基づき委員会活動についての報告が行われた。
- ・ 追試やネガティブ結果の論文掲載について、議論を継続していることも併せて報告された。

（2）エモーション・スタディーズ（Emotion Studies : ES）

- ・ 河野編集委員長より、ES vol.4の編集状況およびvol.5の依頼状況について報告がなさ

れた。同時に特別号の内容についても報告された。

6. 倫理委員会関係

- ・ 特になし

7. 名誉会員の推戴について

- ・ 中村理事長より、畑山俊輝先生の名誉会員推戴と受諾について報告された。

8. 理事選挙の実施について（開票日：2019年1月17日（木））

- ・ 中村理事長より今年度実施される理事選挙の実施について説明がなされた。選挙管理委員会は以下の通りである。年度内に新執行部の体制が確定する見込みである。
- ・ 選挙管理委員長：安藤清志先生（東洋大学）；選挙管理委員：望月聡先生（法政大学），石井辰典先生（早稲田大学），菅原大地先生（筑波大学）

9. 来年度以降の大会について

(1) 2019年度大会について：東海学園大学（大会委員長：河野和明先生）

- ・ 河野大会委員長より、配布資料に基づき2019年度大会の準備状況が説明された。大会の予定日は6/28（金）～30（日）である。

(2) 2020年度以降の大会について

- ・ 2020年度以降の大会実施について相談が行われた。2022年度大会については関西学院大学での開催が決定となっている。

10. 出版関係企画について

(1) ハンドブックの編集状況について

- ・ 内山理事より、ハンドブックの編集状況について報告があった。来年度大会までの出版に向けて編集作業が行われる見込みである。

(2) シリーズ本の発行準備について

- ・ 北村理事より、シリーズ本の準備状況について報告があった。サイエンス社からの発行となる。シリーズのタイトルなども検討中である。

## 11. 表彰関係

- ・ 中村理事長より、感情心理学研究優秀論文賞並びに大会発表賞各賞について報告がなされた。受賞者は以下の通りである。

### 優秀論文賞：伊里綾子先生

題目：青年における BPD 症状の重症度を捉える Japanese version of Quick Evaluation of Severity over Time (QuEST-J) の開発と信頼性・妥当性の検討

共著：藤里紘子先生、山田圭介先生、大久保智紗先生、宮前光宏先生、寺島瞳先生

### 大会発表賞（優秀研究賞）：木村健太先生

題目：唾液中コルチゾール値は逆転学習における意思決定と関連する

共著：伊澤修平先生、山田クリス孝介先生、城月健太郎先生

### 大会発表賞（独創研究賞）：服部陽介先生

題目：赤色は名前をも魅力的にするか？

### 大会発表賞（グッド・プレゼンテーション賞）：福島法子先生

題目：あなたの印象は1分で悪化する：既読後の時間経過が印象評価にあたえる影響

共著：石井辰典先生、関谷大輝先生

### 大会発表賞（精励発表賞）：武藤世良先生

2013年度、2014年度、2015年度、2016年度、2017年度

### 大会発表賞（精励発表賞）：平井花先生

2013年度、2014年度、2015年度、2016年度、2017年度

### 大会発表賞（精励発表賞）：箕浦有希久先生

2011年度、2012年度、2014年度、2016年度、2017年度

## 12. その他

- ・ 有光理事より、優秀論文賞は相対的に重要な賞であるため、総会での表彰や大会でのスピーチ等の機会提供などを含め、その取り扱いを検討する必要があるという提案があった。